



Thank you for your support in 2025.

大会概要

2025年 SUPER GTシリーズ 第8戦

大会名称

2025 AUTOBACS SUPER GT Round 8 MOTEGI GT 300 km Race GRAND FINAL

開催日時

11月1日 土曜（予選） 11月2日 日曜（決勝）

開催サーキット

モビリティリゾートもてぎ ロードコース（1周：4.801km）
所在地：栃木県芳賀郡茂木町松山120-1

同時開催レース

2025 年FIA-F4選手権シリーズ第13戦 & 第14戦

主催

株式会社GTアソシエーション / エムオースポーツクラブ（M.O.S.C） /
ホンダモビリティランド株式会社

公認

国際自動車連盟（FIA） / 一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）

認定

株式会社GTアソシエーション(GTA)

後援

経済産業省／国土交通省／自由民主党モータースポーツ振興議員連盟／茂木町



◆ チーム体制

- チーム名 VELOREX
- 車両名 UNI-ROBO BLUEGRASS
FERRARI 296 GT3
- カーナンバー 6
- タイヤ 横浜ゴム株式会社
- ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+O



ロベルト メリ ムンタン
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日
出身地 スペイン
身長 178cm
体重 70kg
血液型 RH+O

- エントラント代表 古場 博之
- チーム監督 小倉 啓悟
- スタッフ
 - チーフエンジニア Mattia Oselladore
 - チーフメカニック 片岡 恵人
 - 広報兼マネージャー 宅間 美帆
- レースアンバサダー



ENA、YUYU (VELOREX アンバサダー)
城戸ひなの (TONE モタスポ サポートギャルズ)
新堂まみ、市原 薫
(UNI-ROBO アンバサダー from Pacific)

■ スポンサー

アスカ株式会社	株式会社ソフト99オートサービス	サンディスク株式会社
株式会社C I S	M I D T O W N B B Q	有限責任中部総合監査法人
O I R C	青山エレベーター株式会社	ARMS株式会社
T O N E 株式会社	医療法人社団ヒロデンタルクリニック	見田工作株式会社
ニチアス株式会社	カトー機械株式会社	愛知電線株式会社
学校法人高岡学園 高新自動車学校	株式会社ジョイフル設備	笹原金型株式会社
ザーレン・コーポレーション株式会社	株式会社アート買取協会	有限会社大和工業
D O B O T ジャパン株式会社	株式会社デジテックエイチピー	株式会社エイチアンドエフ
エバー株式会社	朝日金属株式会社	大成土木株式会社
株式会社コスモ開発	株式会社マイティミズタニ	株式会社E A S T
岡田金属株式会社	城東電機株式会社	株式会社P O O L

◆ 予 選

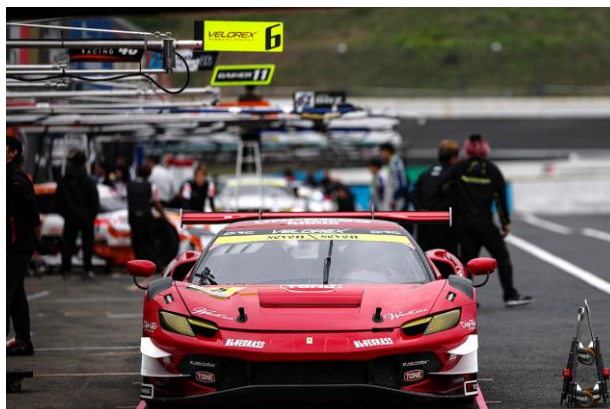
天候 晴れ

コース状況 ドライ

気温 22℃ (GT300クラスQ1開始時)

路面温度 24℃ (GT300クラスQ1開始時)

予選開始 14時00分 (GT300クラスQ1-A組開始)



Team LeMansは本年度より正式にエントラント名をVELOREXとし、昨年に引き続き、FERRARI 296 GT3を投入してSUPER GT GT300クラスに参戦する。同クラス参戦5年目となる今シーズンは、昨年に引き続きマシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。一方、ドライバーは第1ドライバーに片山義章、第2ドライバーにロベルト・メリ・ムンタンを継続起用。チーム体制も継続し、2024シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤは、これまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

今シーズンのSUPER GTでは予選方式が2023年までのノックアウト方式に戻されることとなった。GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組にわけられ10分間の予選Q1が実施されるのは以前と変わらないが、予選Q2へは各組それぞれ1台ずつ増加し、それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。つまり以前よりエキサイティングな予選Q2が観られることとなった。予選順位はQ2のタイム順で決定される。

またGT300クラスは28台が参加する激戦りとなるため、ポイントシステムも変更され、ポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：10位（予選Q1：10位／片山選手：1分48秒002／予選Q2：出走せず／ロベルト選手：ー）

金曜日の夕方から雨に見舞われたモビリティリゾートもてぎだったが、予選が実施される土曜日早朝には雨も止み、9時10分からの公式練習ではウェット宣言が出されたものの、すぐにドライ路面へと転ずるコンディションだった。VELOREXは事前に実施された公式テストで発覚した問題に対応すべくセットアップを変更して挑んだが、ふたりのドライバーは異口同音に不満を口にした、ミッドコーナーでのアンダーステアという問題点は改善されていたが、逆にオーバーステアが強く出て、公式練習は19番手タイムで終わった。

午後の予選までに、その対応に追われたチームであったがなんとか間に合い、片山が予選Q1でのステアリングを握った。セットアップが大幅に変更されたマシンを駆る片山だったが、路面温度の変化もあり、そのセットアップは逆にアンダーステアに転じていた。走り出してすぐにそれを感じ取った片山は、タイヤを温めながら自らのドライビングをアジャストし、いつも通り4周目にアタックに出たが、納得のいくタイムを刻むことができず、そのまま5周目もアタックし、セクター2では自己ベストを更新したものの、4周目にマークしたタイムを更新することはできなかった。1分48秒002は公式練習のタイムを上回ったものの、予選10番手に終わりQ2進出は果たせなかった。決勝は19番手グリッドからのスタートとなった。

◆ 決 勝

天候	曇り
コース状況	ドライ
気温	20℃ (スタート時)
路面温度	22℃ (スタート時)
決勝レース開始	13時10分 (正式スタート時刻 13時07分23秒)
レース予定走行距離	300km 63周 (正式フィニッシュ時刻 14時58分28秒)



#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山&ロベルト選手)

決勝結果 : DNF (5周=3時間2分58秒095 ベストラップ : 1分50秒067 片山選手)

前日の予選で19番手グリッドに沈んだVELOREXは、前日のデータ解析をもとにドライバーの意見とエンジニアの意見をもとに大幅にセットアップを変更することを選んだ。このもてぎ戦用にチョイスしたタイヤのパフォーマンスをフルに発揮できるか否かが勝負の鍵であり、それを試す残されたチャンスは午前11時30分からのウォームアップ走行しかなかった。20分間のウォームアップ走行が実施され、ロベルトと片山は交互にステアリングを握り、決勝に向けて最後の調整を行なった。4周目にロベルトが1分48秒304をマークし、クラス4番手タイムをマークし、ピットは安堵の声に包まれた。トップレベルの速さが戻ったUNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは、自信を持って決勝に挑んだ。

13時00分、気温20℃、路面温度22℃というコンディションの中、交通機動隊が先導するパレードラップを含み、2周のフォーメーションラップの後に決勝レースがスタートした。

今回のスタートドライバーは片山が務め、いつも以上に素晴らしい好スタートを切って1周目には3台のマシンをパスして16番手でコントロールラインを通過。そこからアグレッシブなレースを展開しながらポジションをキープ。着実にトップグループと同等のタイムを刻み、前を走るマシンに対してコンマ数秒のアドバンテージを持った走りでタイム差を詰めていった。ピットからの無線で更にプッシュを求められた片山は、長いバックストレートの先の90度コーナーで勝負を仕掛けた。レイトブレーキングで前をいくライバルをパスしたものの、その勢いでさらに前を走るマシンに接触。フロント左サスペンションに大きなダメージを負い、グラベルストップ。7周目にFCYが出されたが、6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは自走できる状態ではなく、そのままピットへと運ばれリタイヤとなった。

片山 義章 選手のコメント

土曜日は、事前テストで問題になっていた部分を修正して持ち込んだマシンのバランスが悪くなくて、公式練習からずっとオーバーステアに苦しみ、悪い流れのまま予選を迎えてしまいました。予選では、セットアップ変更で逆にアンダーステアが強く出て、マシンの本来のパフォーマンスを発揮することができず、まさかのQ1敗退という結果でした。

エンジニアと話し合っ、決勝に向けてバランスを調整したところ、ウォームアップ走行で、マシンのバランスは昨日よりかなり良くなっていたので、遅くまで頑張ってくれたエンジニアやスタッフの皆さんに感謝して、決勝レースに向けて気合いを入れました。スタートも本当にうまくいき、3台をパスして戻ってこれることができました。更にポジションをアップしようと頑張っ、プッシュし続けましたが、気持ちが入り過ぎたのか、90度コーナーで前に行くマシンをパスしようとレイトブレーキングをし過ぎて、自分からもう1台前のマシンに突っ込んでしまい、マシンにダメージを負ってしまいました。頑張っ、良いマシンを用意してくれたチームの皆さんや応援してくださっているファンの皆さん、スポンサーの皆さん、そしてバトンを渡されるのを待っていてくれたロベルト・メリ・ムンタン選手に申し訳ない気持ちでいっぱいです。今シーズンは優勝を成し遂げることができましたが、そこに満足することなく、来年はシリーズチャンピオンを狙っ、頑張ります。1年間、応援ありがとうございました。

ロベルト・メリ・ムンタン選手のコメント

公式練習では、事前テストで乗ったマシンと全然違っ、フィーリングのマシンになっていたの、アクセルを踏みたいタイミングで踏めず、フラストレーションが溜まりました。しかし決勝日のウォームアップではマシンのバランスがとて、良かったから、決勝には本当に期待していました。片山義章選手のクラッシュは残念ですが、終わっ、ことは終わっ、こと。応援してくださっ、ファンの皆さんには申し訳ない結果でしたが、来年も必ずエキサイティングなレースをし、タイトルを狙いますから、引き続き来年も応援よろしくお願います。

小倉 啓悟 監督のコメント

今回のレースは、自分たちが期待していた結果とは程遠いものとなりました。持ち込んだマシンのバランスをアジャストするの、に時間がかかってしまい、予選Q1敗退という厳しい結果となりました。決勝に向けて、マシンが良くなっ、感触はありましたが、無理なオーバートイクをし、しまい、777号車に対しても申し訳ない気持ちでいっぱいです。リアイアしてしまっ、ことで、応援してくださっ、ファンの皆さん、スポンサーの皆さん、そして多くの関係者の皆さんに対してレースを見て頂けなかつ、のが残念です。本来であれば来年に繋がるようなレースがしたかつ、のですが、クラッシュでリタイヤという、チーム全体にとって、最も避けるべき結果となっ、てしまいました。明日からは気を取り直して、来年に向けて頑張っ、ていきたいと思ひます。1年間、応援ありがとうございました。

古場博之エントラント代表のコメント

持ち込んだセットアップがオーバーステア過ぎて、それをアジャストして予選を迎えたのですが、逆にアンダーステアが強く出てしまい、ドライバーには申し訳ない気持ちでいっぱいでした。決勝に向けてデータをすべ、てチェックし、ドライバーの評価を含めてセットアップを見直しました。決勝当日までにはセットアップの問題は解決できていたので、決勝は期待していました。片山義章選手が素晴らしいスタートを見せてくれたので、それに満足することなく、さらにプッシュするように無線で指示したのですが、急き立て過ぎたのか、行き過ぎてしまいました。777号車には申し訳なかつ、たですし、応援してくださっ、た全ての皆さんに、今年のドタバタを象徴するような最終戦を見せてしまい、申し訳なく思ひています。このオフの間に1年間のすべ、の出来事をしっかりと振り返り、もう一度チーム全体を見つめ直して、より強いチームへと成長すべ、頑張るつもりです。皆さんに応援して頂けたことで、今年1年を終えることができ感謝してあります。本当にありがとうございました。



UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCore

OIRC

ヒロ デンタル クリニック
Hiro Dental Clinic

ASAHI 朝日金属株式会社

CLIMAX
SOFT99 autoservice

KOHSHIN
DRIVING SCHOOL

TONE

zahren

SASAHARA

JOTO DIRECT

PANASHOP

ニチアス

DOBOT

osmo
development

見田工作

愛知電線 株式会社

Digi-Tec
INTECNO

EVER
CORPORATION

AOYAMA
ELEVATOR

MIDTOWN BBQ
STEAK & SMOKEHOUSE

HA
Human & ARMS

DAIWA

H&F

MAITY
SAFETY SECURITY ENGINEERING SYSTEM

PACIFIC
RACING TEAM

関田金
株式会社

株式会社
a.r.t. 買取協会

カトー機械株式会社

4EAST
EAST www.kkeast.net

AOI
TRUST
C O., L T D.

VELOREX
Fueled by Ambition

Sponsor introduction

Team Le Mans